

さざなみ

第115号

〔ミッション〕 私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

〔ビジョン〕 豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。

社会福祉法人 横の里 いすみ学園

春愁を乗り越えて

社会福祉法人 横の里 理事長 岡部 一 邦

今年も学園の桜は咲き誇り、馥郁たる香りで春爛漫を演出してくれましたが、見上げる心は「春愁」に満ちておりました。

「新型コロナウイルス感染症」は、瞬く間に拡散し、世界はパンデミック状態の中で、疫病との戦いに苦闘しております。保護者の皆様には「歌の祭典」以降、面会日の中止をお願いしておりますので、学園運営の現況をお伝えすることが出来ずにおりますが、現状の状況を賢察いただきご寛容の程お願いいたします。

今般、秋本施設長の勇退に伴う人事異動を実施いたしました。

新たな施設長には堂下、後任の支援課長には井上、そして課長補佐には加茂と軽達の4名を選任し発令いたしました。

先代の原井、秋本両氏に続いて三代目となる堂下施設長をはじめ、管理監督者の顔ぶれが一新したこの機に職位・職種に囚われず「利用者中心の全員処遇」をモットーに、様々な課題を活発に議論し、相互の思いを受け止めながら、利用者処遇を実践する職場環境づくりを進めていきたいと考えております。

また、高齢対策を推進するために、近々「新棟建設検討委員会」を立ち上げ、施設の基本設計づくりを進めて参ります。

職員と保護者会の代表に外部の専門家をメンバーに、十分な検討を重ねていきたいと思っております。

高齢対策には施設整備というハード部門に並行して、身辺介護、日中活動医療介護のあり方などのソフト部門の

対策についても着実に進行させていくことが肝要です。

このことで、私は、今般の看護師と女性職員の真剣的確な取り組みと判断に大いに安堵し感謝しております。

大腸の手術でオストメイトとなった女性利用者の処遇を巡って、ストマの処置や体調管理等様々な不安や意見が表出しました。

病院を訪問して、ストマ実習や医療スタッフとの意見交換を重ねた結果、引き続き学園での生活をサポートするという決断によって、彼女は無事退院し学園での生活に戻ることが出来ました。

高齢期を迎える利用者に寄り添い「終の住処」としての役割を担うためには、これからの様々な困難を克服していかなければなりません。今回の経験や自信に変えて支援者としての実践力向上に努力してくれるものと確信しております。

昨年は、台風15号、19号の直撃を受け、千葉県は甚大な被害を被りました。学園は幸いにも停電・断水の被害は免れましたが、近隣の施設は大変な苦労の日々を強いられました。

改めて、防災対策の重要性を痛感させられました。今般、東京都から「非常用発電装置設置費補助」の内示をいただきました。

併せて補助申請中の「受水槽拡張工事費補助」とともに整備ができれば、停電・断水に対する備えが完備され、大きな安全・安心が得られるものと期待しております。

かねて、園内の情報ネットワークシ

ステムの更新を実施したいと考えておりましたが、今般、東京都の「障害者支援施設ICT機器導入支援モデル事業」に応募いたしました。

この補助によりOA環境を整備し、利用者処遇に係る情報の適正管理・共有・効率化を推進していきたいと考えております。

東京都からは、昨年の空調機の更新費補助をはじめ、きめ細やかな配慮と支援をいただいていることに感謝申し上げ、今後も期待に応える施設運営を行っていかねばならないと思っております。

「新型コロナウイルス」は千葉県にも「非常事態宣言」が発令されるという切迫した状況となりました。

東庄町の「北総育成園」で集団感染（クラスター）が発生し、学園も緊張に包まれておりますが、緊急に立ち上げた「対策委員会」を中心に、引き続き面会自粛、外出制限、一時帰宅中止、グループホーム・グループ実習の就労中止などの対応に加え、手洗い・検温・消毒・日々の体調管理の徹底、密閉・密集・密接の三密を避けるといった基本的な自衛策によって、全員無事にウイルス禍を逃れたものと感謝しております。

利用者の皆さんにはストレスの多い日々となりますが、園内での過ごし方に工夫を凝らして全職員が共に寄り添いながら、緊張感をもって状況を冷静に判断し行動することで、ウイルス終息の日を待ちたいと思います。

皆様の激励とご支援をお願いいたします。

施設長就任の挨拶

いすみ学園施設長 堂 下 勉

この度令和2年4月1日付で、いすみ学園 施設長を拝命しました。現場職員として、今まで苦楽を共にしてきた仲間と共に新しいいすみ学園を構築していきますので、何卒ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

いすみ学園は、房総の豊かな自然の恵みの中、創立36年目を迎えました。長年の歳月にわたり、利用者の「豊かな生活」への道筋を探索し、総力を上げた支援に邁進して参りました。

いすみ学園の変遷を辿りますと、開園当初は、施設生活への適応と生産活動への適合、次のステージで利用者の社会進出であり、就労支援及びグループ実習生を数多く地域社会に送り出し、社会貢献の担い手として活動中です。学園行事や地域イベント、地域資源の活用などにより、利用者主体の啓蒙活動が、日常生活を通じて自然に展開されてきたかと思えます。土曜日のクラブ活動には、課題もありますが「継続は力なり」を実感でき「働く喜びと余暇の充実」の一つの成果であると考えます。

「高齢虚弱化」問題では、自閉症やダウン症の方では、行動特性によって

は、40代半ばで既に虚弱化が進行したケースもあり、利用者の「状態像」の変化が歳月の移り変わりと共に、如実に出現しはじめました。「高齢虚弱化」は思いのほか急激に進行しており、その現実を踏まえて、日中活動の目的を「安心と安全、援助の効率化」として介護体制を強化した「万木工舎」を、平成30年度より立ち上げました。現在では「和み」を基調に、小さな力ではありますが個々人の力を結集した日中活動を展開するまでに歩を進めています。

私は教員時代、この子らの「将来や未来は」といった「人生観」に興味関心が高まり、さまざまな障がい者施設を見学したものです。故原井利夫先生ともその間に巡り合い、いすみ学園に着任した経緯がございます。

現在、入所施設の在り方については様々な議論がありますが、いすみ学園は「終の住処」への道筋を模索していく姿勢を掲げ、高齢期を向かえる利用者の「人生」に真摯に向き合っています。



感謝を込めて

秋本 泰司

平成四年、「いすみ学園」に就職して二十七年間、大変お世話になりました。

就職した年に、東京都のモデル事業としてグループホーム「さくらの家」の竣工式に恵まれ、その後の大規模修繕など学園の発展に関わらせていただいた事、そしてハワイ旅行：懐かしい思い出が沢山あります。

この間、福祉制度が「利用者主体」と大きく変わりましたが、学園も色々と様変わりしてきました。

当時は「高齢・虚弱化」、「人材難」、「減災対策」などは、話題にもならなかった事が、今では、学園が抱える最大の課題になっています。

特に、高齢・虚弱化対応については、人材確保が難しい中では「リスク」気づき」の重要性が増してきています。

職員は保護者と違って「退職」と言うことで、福祉とは薄縁の立場になっってしまうが、前職から約五十年間、一途にこられたのは、多くの人達に恵まれたおかげです。

特に、利用者と笑顔で別れることができたことで、今は自己満足しています。



最後に、これからの学園を担うのは間違いなく「若い力」です。時代の要請に答えられるように育成して、乗り越える力を蓄えてください。長い間ありがとうございました。

新年度を迎えて 各班から一言

〔室内班〕

令和2年度の活動が始まりました。新型コロナウイルス対策の為に、ご家族や関係者の皆様との顔合わせがなく静かなスタートになりましたが、利用者の皆様は元気に伸び伸びと活動に参加されています。1班の所属利用者は12名、所属職員は6名です。昨年度より少しだけメンバーが減りましたが、まだまだ大所帯です。1人が話し出せばすぐにザワザワ、1人が動き出せば皆パタパタと動き出す賑やかな日々です。



そんな1班ですが、準高齢虚弱班の位置付けを持つ班なので、室内作業である受注や手芸といった活動の他に、体を動かす時間を設定しています。毎日、午前中は体育館を1時間程度歩き、その後は曲（アブラハムの子・あまちゃん・のテーマ・瀬戸の花嫁・勇気100%・パプリカなど）に合わせたリズム体操を行ってから作業班に移動しています。嚥下機能の維持の為に、食事前に歌をうたう口腔運動も始めました。学園全体で高齢化対策を進めています。1班利用者の多くはまだまだ元気で「やだなあ、まだ体も動くから大丈夫だつて」などと言いながら、活動を楽しまれている現状です。言葉がない方も、表情や態度で伝えてくれます。感染症関連の暗いニュースが続く中、利用者の皆様の笑顔やユーモアにあふれた言動が学園を明るくしてくれています。今できることを行いながら利用者の健やかな生活を守り、一緒に活動を楽しんでいきたいと思っています。

（支援主任 鈴木 典子）

〔外作業班〕

4月桜が色めき春風の心地よさに胸弾ませる季節となりました。しかし、今年は年明けから季節外れの気候に悩まされ、畑の作物やそして何よりもいすみ市より委託されている広域農道の「菜の花」に大打撃を受けてしまいました。例年ですと2月頃よりチラホラと蕾を持ち始め、せっかちさん達は我

さきにとばかりに、その黄色さを楽しませてくれます。それが今年は3月に入っても花が咲かず、悩まされました。追肥や補植、雨が降らない時は散水にも出かけ、ようやく少しずつ花芽を持ち始めてくれるようになりました。その間利用者さん達も、補植用の花の運搬や花壇内の草取りと頑張つて下さりました。某企業のCMで「結果にコミットする」とありますが、手を掛けた分人も植物も成長する事に気づかされた年度末となりました。



さて話がそれてしまいました。今年度皆さんにもご周知の通り学園は大きな人事の異動と入れ替わりがありました。何よりも長年当学園を支えて下さった秋本前施設長のご勇退は外作業

班の皆さんもショックであったと思います。ご自身も草木や花々を愛しており、利用者さんや我々職員にも沢山の助言を頂きました。ここに深く感謝の意を申し上げます。又作業班内でも職員の異動があり、利用者さん方も大変困惑したかと思っています。その方々も早く作業に慣れて頂き、これまでと違った色を皆さん方にお見せできるかと思っています。

新型コロナウイルスの影響で閉塞感のある毎日となっていますが、この期を乗り越え3つの密を、誰もが心温まる8つの蜜にできる様に、今年も一丸となつて頑張つて行きたいと思っています。

（支援主任 片岡 彰則）

〔食品加工班〕

桜満開の中、新年度が始まりました。今、世界では大変な脅威と戦つて深刻な状況ではありますが、窓から見える景色はいつもと変わらず、不思議なほどにとっても穏やかです。

食品加工班では、一月から続いた味噌作りも三月に終了し、夏みかんの収穫・加工やいちごの加工を経て、現在は主に近隣の販売所に納品する定番の商品作りに精を出しています。六月を過ぎるとブルーベリーや梅、らっきょう、きゅうりの収穫や加工が始まります。秋になると、学園祭を始めとして色々な販売会でお客様に直接販売させていただく機会も多くあり、またお中元やお歳暮の時期にはたくさんの注文

をいただいて、商品作り・梱包・発送と慌ただしい毎日になります。このように、一年を通して様々な作業がありいつも忙しい加工班ですが、利用者の皆さんはここでの作業が永く、多くの体験をもとにそれぞれの得意な作業をしつかりとこなして、毎日明るく元気に作業に取り組まれています。



今年は職員利用者二名の異動により総勢十五名、職員は全員女性となりました。高齢虚弱化の波に押され気味な学園ではありますが、加工班メンバーはまだまだ元気いっぱい。力仕事もみんなで力を合わせて頑張っています。厳しい状況の中、ありがたいことに今年も多くの注文をいただいています。今年もお客様への感謝の気持ちを持ち、仲間と共に元気に働ける喜びを共有し

ながら、たくさんの笑顔と質の高い商品作りを目指し、作業に励みたいと思います。(支援主任 岩瀬 祐三子)

「石けん班」

世の中は新型コロナウイルスという今まで経験したこと無いような脅威に直面していますが、石けん班は令和二年度を職員一名の入れ替えの他、大きな変化もなく迎える事が出来ました。利用者はコロナに負けず元気に仕事をしています。



さてここで少し利用者の皆さんの仕事をご紹介します。先ずは我々の石鹸作りに欠かせない「火」のための薪作り。材木を運んだり鋸で細かくしたりと、これが中々重労働なのです。そして廃油と苛性ソーダとの攪

拌(これも力が要ります!)、材料の一つである石鹸屑作り、箱に流した石鹸の成型、出来上がった石鹸の袋詰め、パッケージ作りと多岐にわたります。加えて原料の廃油回収も重要な工程です。皆さんそれぞれ適材適所で力を発揮しています。ご存知のように一見すると豆腐のような素朴な形をした石鹸にこれだけの労力をかけています。そして肝心の効果ですが、これもまた抜群です。生き活き展のような販売会では、お客様から「子どもの靴下の汚れがよく落ちる」など多数の好評価を頂いており、私も子供の上履き洗いに愛用しています。「暗い気持ちも汚れもキレイさっぱり!」そんな激落ち石鹸を班メンバー一丸となって作る一年にしたいと思っています。

(支援主任 長沼 毅)

「万木工舎」

万木工舎は介護に特化した「介護班」です。個別支援が必要な方に対し精神的サポート(ケア)を中心に支援を行っています。個々の力を合わせて、皆さん支え合いながら作業を行っています。万木(さをり)織り、牛乳パックを活用したハガキ作りなど、一人では出来ないことを皆さんで協力し行っています。更には、健康維持の為にウォーキングの時間を毎日取り入れています。その際は、個々の体調に考慮しながら無理なく参加しています。歩行が難しい方は、マッサージやストレッチ

チを個々に合わせて行っています。午後は入浴タイム。三名は、介護浴槽を活用した入浴を毎日安全に、温かく快適に利用されております。他のメンバーが介護浴槽の見学に行き、話を聞くこともありました。

「いいね!入りたい。」との意見もありました。毎日の入浴は、普通入浴もゆつくりと行っています。

四月になり新年度がスタートしました。新しくメンバーに加わったAさんは、万木織りを楽しんでます。利用者さん九名、職員七名、新人職員も加わりました。皆さんで、穏やかに日々を過ごしていきたいと思っています。楽しく元気な一年にしたいと思います。

(支援主任 竹内 詠子)



「グループ実習班」

令和2年度、新たな職員も加わり、準備を進め、新年度のグループ実習班がスタートしました。そんな矢先、新型コロナウイルスの感染拡大の影響でグループ実習班の活動の見合わせを余儀なくされました。もちろん地域就労者も同様です。いすみ学園でも感染症対策の更なる強化が求められます。残念ですが、仕方がありません。事態が終息するまでの間は環境整備を中心に園内での作業を行っていくことになりました。

現在のグループ実習班においては、平成30年10月以降、二班合同となっております。当初移行にあたっては、様々な問題が懸念されましたが、二班が上手く連携しながら、大きな混乱も無く過ごせているのが率直なところです。原料が増産体制になったり、働いている外人が入れ替わったり、リフトが2台体制となったり等、日々環境が変化して行く中でも、状況に応じた対応を取ることができています。利用者一人ひとりが順応してくれるなど、これまで培ってきた個々の能力の高さを感じます。併せて、社会参加していることは、大変意義深いものがあります。

未だ先行きが見えない中にはありますが、一日でも早い終息を願ってやみません。明けない夜はありません。笑顔が絶えない、いつもと変わらず元氣

に活躍している姿が見られる日が来ることを念願しております。

(支援主任 屋代 精二)



「生活班」

生活班は八木（10年目）・手塚（4年目）・佐藤（2年目）の3名体制で、1階本館、新館、2階に分けローテーションを組んで作業をしております。

主な仕事内容ですが、棟内の清掃、洗濯です。時には、色々な修繕も行います。その他に、体育館・美術館・コスモスの家・宿舍の清掃も行っています。各居室の細かい所まで手が回らない時もありますが、全体に目を通すように心掛けています。何かお気づきの点がございましたら遠慮なくお申し付け下さい。なるべくご希望に添えるように努めてまいりますので、よろしくお願ひ致します。

(八木 三枝)

「いすみ歌の祭典」

開催

去る令和2年2月9日(日)、いすみ学園交流ホームにて「いすみ歌の祭典」が開催されました。今回も千葉日報社様に後援いただき、優勝トロフィーや賞状を提供して下さいました。

また作詞、作曲家のたきのえいじ先生からもラジカセや色紙など、様々な賞品をいただきました。

職員、大木さんの司会で「いすみ歌の祭典」が幕を開けました。



第1部は作業班対抗戦です。数ヶ月前から、練習や小道具など、本番に向けて準備を進めて来ました。各班それ

ぞれが持ち味を活かして熱唱。中には仮装大賞のような班もあり、会場は大爆笑。練習してきた成果を遺憾なく発揮してくれました。

第2部は歌手の藤森美仔さんの歌謡ショー。素敵な藤森さんの衣装と歌声にうっとり。利用者さんの中には一緒に笑って笑顔で歌っている方もいました。



審査委員長、たきのえいじ先生や来賓者の方々からは、たくさんのお褒めの言葉や励ましの言葉をいただきました。その皆さんの心温まる思いが、歌の祭典を支え、今回も楽しい時間を過ごすことが出来ました。本当に有難うございました。

(支援員 金城 正直)



医務だより

看護師 江澤 徳子



訪問診療医の紹介



川野先生

昨年4月より、毎月いすみ医療センター 副院長 内科医 川野先生の訪問診療を受けております。高齢・虚弱の進む中、十数名の易感染者（感染を起こし易い方）を中心に、状態報告、相談をして、内服処方や、検査指示により、通院治療を受けることができています。体調不良者も診ていただいている為、早期診断・早期治療により、重症化された方はおりませんでした。インフルエンザ・新型コロナウイルス等の感染症により、通院すること自体が危惧される今日、病院に行かずに、診療、治療が受けられることに感謝しております。今後も先生と協力して、利用者の日常生活を元気に、楽しく過ごすことができるように、医療面でのお手伝いをさせていただきます。



野村先生

長きにわたり精神内科の治療にあたられた中原先生の後任として、4月より脳神経内科医の野村先生が、毎月訪問診療をしてくださることになりました。ここで、優しい野村先生を紹介させていただきます。2000年3月に日本医科大学を卒業され、同大学付属病院第2内科を経て・東京都多摩老人医療センター神経内科・山形県北村山公立病院神経内科等で勤務されておりました。2012年11月より現在勤務の塩田病院脳神経内科医部長として、ご活躍されております。月に2回、いすみ医療センターでの診療も行っている、神経内科全般を診ている先生です。4月3日初診でしたが、一人一人に声をかけ、和やかな雰囲気の中で診療を受けることができました。利用者が安心して過ごすことができるように、診療の架け橋をしていきたいと思っております。

福祉車両の寄贈に感謝します

課長補佐 加茂 正和

先日、いすみ学園にはピカピカの新车、トヨタ・ヴォクシー車いす仕様車が納車されました。この車両は、あの有名な警備会社大手の総合警備保障ALSOKの「ALSOKありがとう運動財団」から寄贈されたものです。3月17日、学園にてALSOK成田支社の社長（加藤様）さんをお迎えし、岡部理事長参加の元、式典を行い、盛大に披露されました。

今回の福祉車両は、車いすに利用者が乗ったまま乗車できます。また、車内でTVを観ることのできる大変に豪華な装備です。今後の通院支援は勿論、休日の余暇外出等々様々な面で活躍してもらいます。大切に利用させていただきます。ありがとうございます。ありがとうございました。



いすみ学園主要行事

新型コロナウイルスの影響で日程が変わることが予想されますので、ご了承ください。

4月12日(日)	面会日
5月3日(日)	ゴールデンウィーク 一時帰宅
6月14日(日)	面会日
6月	ポナス外出 生き活きフェア
7月11日(土)	面会日・夏祭り
7月・8月	夏の行事
8月8日(土)	一時帰宅
9月	夜間避難・召集訓練
9月20日(日)	面会日・お楽しみ会
9月	生き活きフェア
10月4日(日)	面会日
10月17日(土)	槇の里祭
11月20日(金)	一時帰宅
11月	生き活きフェア
12月13日(日)	面会日
12月	クリスマス忘年会
12月28日(月)	ポナス外出
1月4日(月)	年末年始の一時帰宅
2月	面会日・歌の祭典
2月14日(日)	節分会
3月14日(日)	生き活き展 面会日



平成31年4月から令和2年3月までの間に御寄付を賜りました「後援会会員」の皆様の御芳名を記載させて頂きます。ありがとうございます。紙面の都合上、敬称は略させて頂きます。

・五十嵐正一・石井千賀子・菊地一雄
・小川清敏・田中三枝子・銅谷勝子・
西山光江・原井清子・原井恵二・南澤
恒男・土田修二・末清節子・五十嵐敏
子・高田芳允・土肥真・小田嶋勉・稲
葉伸子・飯田香・江幡誠・加林讓・東
昭建設 齊藤晴夫・西村秀美・西村耕
也・由井澤・大塚克行・久保喜平・渡
部勇・齊藤嘉津代・会田操・赤嶺淳一
・泉富夫・大石坦・勝俣洋子・北本三
千代・志水嘉明・中村好秀・木造育代
・小澤育圃・吉田広文・喜屋武隆一郎
・中川美津江・市川洋子・落合邦行・
牧千代子・広瀬千鶴子・三室玲子・窪
田邦子・伊藤典子・常本一典・常本久
美子・佐々木辰雄・齊藤日出子・小倉
昌代・北方政實・土方満喜子・会田哲
也・会田正・竹田和弘・会田洋・岩崎
陽子・岩崎アイ・中谷利勇・中谷利一
・甘粕美保子・飯島せつ子・若月ヒロ

子・川端ヒサヨ・本名猛・石黒雄幸・
森和子・遠藤進・森孝子・中野光夫・
花光智恵美・花光英和・高垣千代・森
勝・中西鎮雄・亀山紀子・相沢雅代・
伊藤明男・大谷光弘・甲斐友美・桐生
敏幸・中西美子・坊垣勝彦・横井葉子
・山本和弘・杉山尚浩・鈴木翠・芳賀
竹志・水戸部章・栗山尚久・辻祐樹・
中西宏仁・高橋昌也・中野達夫・山内
千晶・高尾美幸・関口達重・高橋茂子
・関口いせ・千葉ヨシ・愛川義雄・内
山浩・瀬田武久・山樹文子・齊藤恵子
・高橋マリ・橋爪俊子・齊藤澄子・麻
生実・川野和永・苅米興工門・苅米豊
・石井莊司・石井恵美子・関芳弘・長
田重孝・長田恵子・黒川信行・中村達
・杉山恵子・星田健二・齊藤明美・福
本聡・愛川久子・三室美千子・尾科弘
臣・幸村幸代・中村文子・北澤友幸・
高橋節子・池田博樹・守隨良子・清水
美保子・伊藤信一郎・小峯賢・吉野い
せ・土淵るり子・土淵精一・小泉眞理
子・栗原小絵子・生方里江子・細谷雅
子・日柄幸子・細谷光子・朝倉幸子・
石田節子・誂高良子・田中一・重田真
幸・清水稔子・佐々木幸雄・戸沢康弘
・若林道子・永江加代子・高澤文子・
松島弘美・清水潤二・高桑邦子・桐澤
里津子・小野英子・木村奈津子・松戸
裕子・川名教子・若林謙・大森もと子
・沼志賀子・岩橋圭子・岩間美由紀・
原田泰隆・若林和子・清水弘・清水千
代子・清水彰・高梨寿美枝・清水裕・
川本雅巳・清水従子・齊藤誠司・猿渡

まり子・星野参郎・高梨悟・卓初子・
小林富次郎・松田美津子・永田豊・後
藤健一・後藤洋子・木野慶治・清水良
憲・甘利紀子・岩澤廣元・池田瑞枝・
鈴木たま子・後藤明子・平松金三・桐
谷佳雄・益田英則・益田美代子・早川
恵子・益田和也・今堀亨子・赤坂徳子
・赤坂和子・江尻尚樹・江尻全機・吉
澤恵美子・中村敬・中村ヤエ子・姫野
保雄・近藤和義・上野梢・岩本菊子・
米丸啓子・米丸孝・津倉京子・石川隆
三・石川洋子・辻村邦康・白川康子・
白川均・和座勝朗・辻村純子・和座敬
子・宮田茂・大原俊二・大原夏子・小
野正夫・星芳・大原麻紀子・小泉千寿
子・松中研一・松中紀子・松中耕二・
小林章子・浅野勝伸・村野主税・権田
孝・土井由起子・山之内玲子・伊藤恵
子・篠原学・黒沢秀雄・月岡順子・石
口真智子・古屋大蔵・古屋修・杉本郷
・古屋香代子・今井和子・新藤千香子
・三池朝子・西澤敦子・豊村幸夫・伊
藤幸雄・並木紀子・山内八洲・(株)ビー
アイエー・高浦伸芳・山地純一・實方
悦子・松本設備工業(有)・鈴木光治・今
野康子・(株)新清ハイツ・渋谷照子・細
井好・長良幸男・瀧島義光・原耕一・
高山商店・金平輝子・齊藤実・久保田
武子・北山静香・中森明子・西内恭子
・小俣光弘・江尻恭仁子



A816 いすみ学園 大地の恵みセット



寄付金額
10,000円



【内容】

いすみ梅・・・・150g
にんにく味噌・・・・115g
唐辛子味噌・・・・115g
手前味噌・・・・670g
胡瓜中華漬・・・・205g
ブルーベリージャム・170g
夏みかんジャム・・・・170g
梅ジャム・・・・170g

いすみ市ふるさと納税

後援会にご入会を！

いすみ学園の活動を支援するため、後援会が結成され、積極的な活動を行っています。皆様方のご協力をお願いいたします。詳細は学園事務局へご照会ください。

寄附物品募集

いすみ学園では、個人・企業を問わず寄附物品を募集しています。榎の里祭の「バザー用品」や利用者の為に使用する「オムツ(大人用)」「尿取りパット」「車椅子」などです。事前にご連絡を頂けると助かります。ご協力をお願いします。

連絡先 いすみ学園

☎〇四七〇(八六)三四一二

よろしくお願いします



山下大貴

今年度から、職員になりました山下大貴です。前職では2年半、児童の放課後デ

イサービスや成人の日中一時支援、短期入所での日常生活の支援や本人たちの自立に向けた支援を行っておりました。前職の経験を活かし、皆様のお役に立ちたいと思っておりますので、ご迷惑お掛けしますが、どうぞよろしくお願い致します。

私はアロマが好きなので、休日はアロマで心と身体をリフレッシュしながら、支援に携わっていきたいと思います。

お疲れさまでした



仲佐 操

私は、いすみ学園に七年勤務させて頂きました。外作業班や日中作業で利用者

の皆さん、職員の皆さんには支援ながら大変お世話になり有難うございました。

私にとっては、一つ一つが貴重な経験でした。今後のいすみ学園のご発展と、皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。

満足していただける 食事を提供するために

令和2年2月に利用者の嗜好調査を行いました。食事の質の向上を目指すため毎年行っている調査です。利用者の中には個人から聞き取りを行える方もいらつしやれば、職員が普段の食事の様子を観察して記入した方もいらつしやいます。現在の学園では職員からの聞き取りの方が多いです。嗜好調査の結果は52人中「満足している」と回答された方は18名、「普通」と回答された方は32名、回答なし1名、入院中1名となりました。この結果をもとに委託会社LEOCと協力し、さらに満足していただけるよう目標をもつて食事提供をしていきます。又、この嗜好調査では身体活動レベルの見直しもを行いました。高齢化に伴い活動量の変化を把握し、個人の食事提供量の見直しや体重管理に用いて健康管理につなげられるようにしています。嗜好調査なので食事面の内容ですが、個々の担当職員は利用者の食の変化や特徴をたくさん記入してくれました。1日3食を観察し回答していただいた結果を見ると施設ビジョンである良きパートナー（隣人）として支えられていると感じます。食事は状態変化を見る大切な場面です。美味しく、安全な食事だけでなく、今後も食事を通して利用者の状態を把握し「食べる楽しみ」を継続できる食事提供を行っていききたいと思います。（栄養士 大屋 真理子）

感謝録

次の皆様方から、たくさんのお寄せを頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。（順不同 敬称略）

〈寄附金〉

・社会福祉法人楨の里後援会・共同募金会目黒地区協力会・太田洋・相沢利子・林陽子・中原知子

〈寄附物品〉

・昼間京子・宮西佳子・宮田依子・武田・協業工業(株)・(株)岬サービス・石野薬局・(株)清水基金・峯岸朱美・波多野電器・(株)ファーマみらい石神井薬局・(株)あらた・原井利明・原井清子・平なおこ・伊東理恵子・(株)東基・(有)高山商店・高野政子・楠山文子・川村優子・岩瀬ラジオ店・中北真由美・夷隅長生臨床検査センター・(有)源氏商店・鈴木誠一・内山重浩・山澤・いすみ農業協同組合・(株)新環境設計・大西萌子・(株)西川・(株)新清ハイツ・野川信太郎・佐々木・(株)ビーアイエー・(有)松本設備工業・鈴木百合子・井上千佳・(有)田辺印刷・池田襟子・小川・全経済関東支部・船木浮・杉村清隆・奥出裕子・(株)タカサ・千葉ノミ(株)・市川真由美・斉藤みね子・ピア宮敷・近藤和義・吉水阿有美・ジャパンフーズ(株)・岩屋佳子・村井真理・中村まり子・金子順子・小林恵美・千葉ヤクルト販売(株)・塚田有子・上野智子・小淵智也・たきのえ

編集後記

現在世界中で大きな問題となっている新型コロナウイルスの影響拡大で、多くの人が深刻な思いをされています。県内でも、障害者支援施設において、新型コロナウイルスの集団感染がありました。大変もどかしい日々が続いています。少しでも早く終息して、皆さんが明るく前向きな気持ちになれるように願っております。

（さざなみ担当）

是枝志津子・屋代精一



題字は 金子

勇さんです。